

会議録様式

審 議 会 名	令和 6 年度第 5 回杉戸町立図書館協議会
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 6 日 (木) 午前 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分
開 催 場 所	杉戸町生涯学習センター 集会室 1、2
会 議 の 議 題	(1) 令和 5 年度 杉戸町立図書館サービス計画報告について (2) 令和 6 年 10 月～令和 7 年 1 月の運営報告について (3) その他
公開・非公開の別	☒ 公開 ・ 非公開 (傍聴者数 4 名)
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名 (敬称略)	正司 顯好、千葉 耕平、小山 裕之、堀江 泰一、塩川 敬子、 寺崎 恵子、古我 貞夫、平井 明子
審 議 の 概 要	審議の概要
	(1) 令和 5 年度 杉戸町立図書館サービス計画報告について 「図書館の利用促進」について ※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和 5 年度版 (3 ページ) 事務局) 図書館受入冊数が令和 4 年度と比較すると下がっている。 理由は、単価の高い視聴覚資料を買い直したことによるもの、図書資料の値上げによるものである。公民館リクエスト 処理件数、図書館利用新規登録者数の目標値未達成の理由は、コロナ禍回復や中央公民館閉館等によるものが考えられる。 協議会意見) 今後、数値増となるよう方策の検討を図られたい。 「子育て世代・乳幼児サービス」について ※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和 5 年度版 (8 ページ) 委員 1) 以前はブックスタート事業に合わせ、ボランティアによる対面での読み聞かせを行っていた。その時は親子で絵本を読むことの大切さを直接伝えられたが、コロナ禍からブックスタート事業に合わせた読み聞かせが中止となってしまった。読み聞かせの再開をお願いしたい。 委員 2) 全国自治体のブックスタートの実施方法については官報等から情報収集してはどうか。その情報を基に、実施方法について保健センターと交渉してはどうか。 事務局) 全国自治体の情報収集を行っていく。

委員 3) 定期的に町内保育園おはなし会を開催しているが、すぎと保育園、泉保育園以外での保育園での開催拡大をしてはどうか。

事務局) 開催する保育園を拡大することは問題はない。しかし、読み聞かせボランティアの協力が不可欠であるため、各読み聞かせボランティアとの話し合いが必要となる。

「児童・YA（ヤングアダルト）サービス」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和 5 年度版（9 ページ）

委員 1) 保育園や学校に向けた図書館主催のおはなし会やブックトークを実施しているが、図書館主催でない保育園や学校での読み聞かせ等も図書館ボランティアが多く活動している。事業評価の対象外としているが、そういった活動も評価に含めてはどうか。

事務局) 数字（実績）については過去の積み上げ等があるため、十分検討したい。

「一般成人サービス」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和 5 年度版（10 ページ）

委員 1) 基本方針 2 基本施策③の取組内容の中で「日常に役立つ資料を中心に収集に努めます」と記載されているが、該当する数値指標が「一般成人サービス事業実施回数」とあり取組内容とそぐわないのではないかと。次年度の数値指標を改めて考えた方がよいのではないかと。

事務局) 次年度は数値指標設定の検討をしたい。

「高齢者サービス」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和 5 年度版（11 ページ）

委員 1) 目標の立て方と高齢者ニーズの把握に工夫が必要である。取組内容にあるような高齢者との関わりをもつには、情報収集だけでは足りない。認知症特集展示では、認知症を理解するための知識や情報に加えて、介護や社会的支援に関する情報もニーズとしてある。高齢者のニーズは一括りにできない。「生きがいにも繋がる各種事業」として、図書館の折り紙を使った装飾作りに高齢者の方々にもご協力いただく参加型の事業も考えられる。施設の方々をお願いをし高齢者との交流を持つことで、必要な情報の把握ができる。ニーズがつかめないままの情報発信は、高齢者にとって利用しにくさになりかねない。

「障がい者サービス」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和5年度版（12 ページ）

委員1）りんごの棚の充実を求める。

事務局）今度、りんごの棚の拡大や場所の確保、展示方法の工夫が必要なることから、委託業者と協議しながら進めていきたい。

「多文化サービス」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和5年度版（13 ページ）

委員1）海外資料の収集には限りがある。県立熊谷図書館の協力を得るべきである。県立図書館のコレクションを借りて展示しその利用動向を確認することは、今後の利用を展開するために意味はあると思われるので、検討を依頼する。

「ボランティア・地域の人材・企業との連携」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和5年度版（14 ページ）

委員1）地元の企業が雑誌スポンサーになることのメリットをもっと図書館が表現できたらよいのではないかな。

委員2）雑誌の購入については雑誌スポンサーに頼るのではなく、図書館が購入するべきである。図書館での雑誌の取り扱いが開館当初から減少していることは問題である。また、雑誌は休刊廃刊が増えている一方、電子雑誌の出版が増えている。今後電子雑誌が主流になるとと思われるため、雑誌スポンサー制度の運営方法を考えていくべきではないかな。

「学校との連携」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和5年度版（15 ページ）

委員1）小中学校の図書委員の子どもたちに参加をお願いし、「〇〇小学校・〇〇中学校の図書委員が選んだ本」のコーナーを図書館内に設置するという企画を実施している公立図書館がある。図書館と学校の繋がりを表現できるのではないかな。

委員2）ある自治体の小学校の図書館調べる学習コンクールにて、子どもたちが調べたことを図書館に還元することを行ったことがよかった。そのようなことも活動の広がりにつながると思う。

委員3）高校との連携も視野に入れてゆくべきではないかな。司書教諭が双方に動くことが可能になり、活動内容が大きく広がることが期待される。

「庁内各課との連携」について

※杉戸町立図書館サービス計画事業評価シート令和5年度版（16 ページ）

事務局) 各課の行政アカウントの利用については、現在運用のルール等について見直しを行っているところで、運用には至っていない。また、行政用資料のリストを作成し、それらを貸出できるような仕組みを考えている。

委員 1) 行政資料の紹介を行うとき、官報や埼玉県報の活用を勧めたいと思う。総務省が提供している e-Gov というデータベースもある。これらの資料提供を受けられる体制の整備を急いでほしい。

(2) 令和 6 年 10 月～令和 7 年 1 月の運営報告について

委員からの意見等なし

(3) その他

委員 1) 協議会委員が勉強できる場を提供してほしい。以前実施した他自治体の図書館見学は有効であった。また、「図書館の自由に関する宣言」や「図書館員の倫理綱領」、図書館法等を学ぶ機会を持ち委員全体の共通理解を図れたらよい。

事務局) 今年度協議会の開催数が 3 回である。限られた時間にこれらを実施することは難しい。意見として承りたい。

委員 2) 国の策定した第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、都道府県及び市区町村においても策定を求められているが、杉戸町は未策定である。策定に向けて努めてほしい。

事務局) 主管課が未定である。いずれ策定しなければならない。